

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

※ 受理番号	学校	教科	種目	学年
102-280	高等学校	芸術	書道 I	
※ 発行者の番号・略称	※ 教科書の記号・番号	※ 教科書名		
2 東書	書 I 701	書道 I		

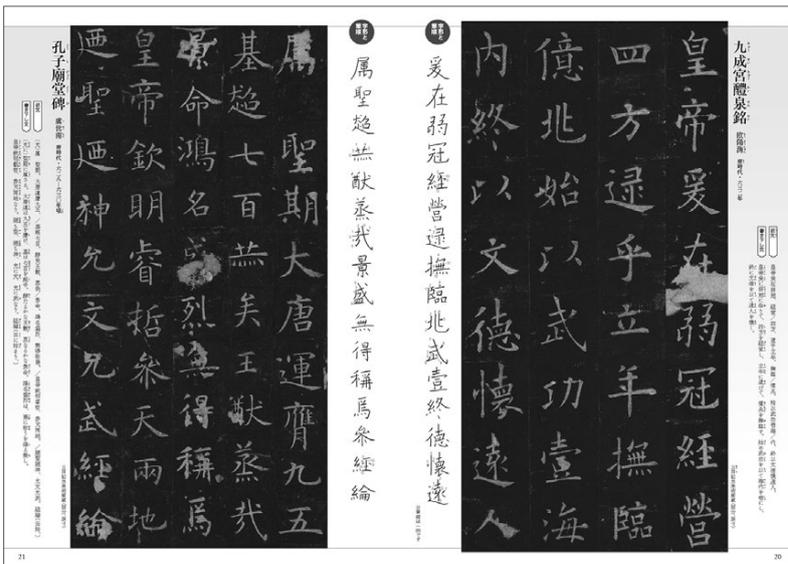
1. 編修の基本方針

「書之美を楽しむ」

本教科書は、生徒が書に関心を持ち、表現と鑑賞の基礎的な能力を育みながら書に対する感性を高め、書の伝統と文化を理解し、生涯にわたり書を愛好する心情をもてることを目指して編修しました。

① 表現と鑑賞の基礎的な能力を育成する

書に関する幅広い知識の理解、基礎的な技能の習得、書を表現・鑑賞する際の思考力・判断力・表現力等の育成を目指して、学習内容および教材の精選を図りました。



p.20-21

● 楷書の基本教材では、古典の特徴を比較しやすいように二種類の古典を見開きで配置し、直感的な鑑賞がしやすいように配慮しています。

● 各教材の「表現の特徴」では古典の書風や用筆・運筆、全体の構成などを具体的に言語化し、簡潔にまとめることで、前ページの観賞で感じたことに根拠をもてるように配慮しています。

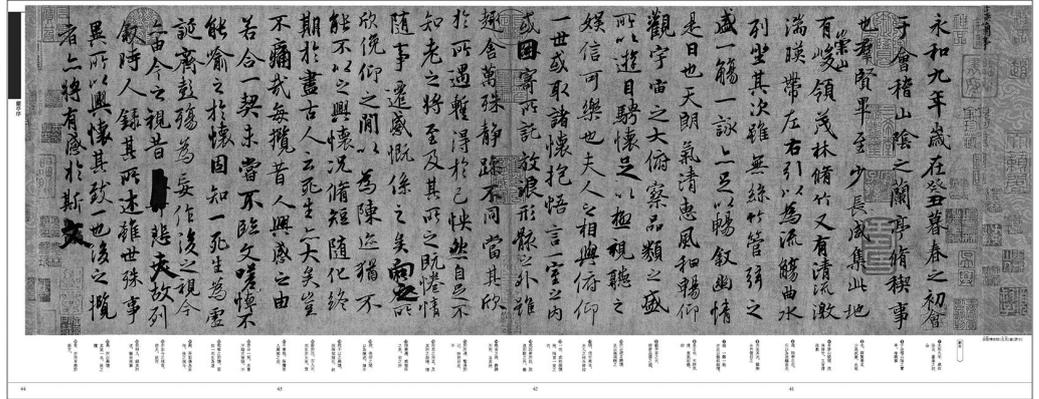


p.22-23

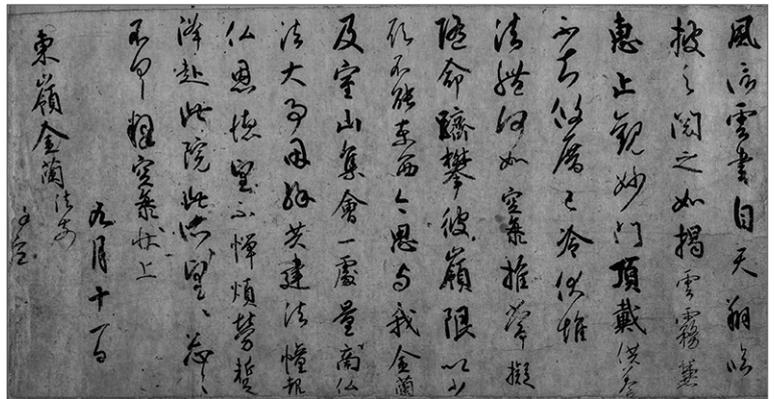
2 書への感性を高め、永続的な愛好心を育成する

臨書・鑑賞教材には迫力ある高精細の図版を掲載し、書の美を味わい感性を高められるように工夫しました。また、鑑賞に役立つ語彙一覧を掲載するなどの具体的な手立てを示して鑑賞学習の一層の充実を図り、生涯にわたって書を楽しむ心情を育むよう配慮しました。

- 臨書用の拡大図版は、紙の繊維が分かるほどに高精細の画像を精選しました。

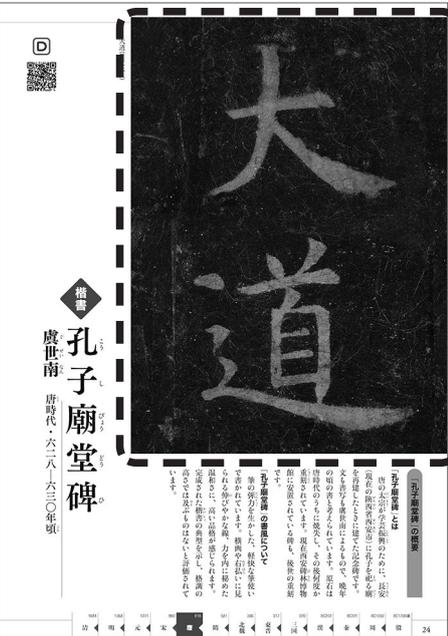


p.41-44 (折り込み)



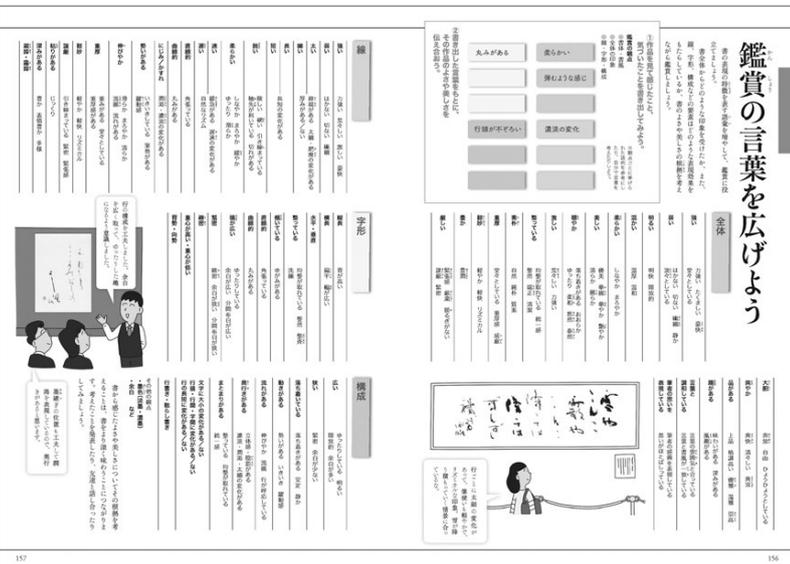
p.53-55 (折り込み)

- 中国と日本を代表する行書「蘭亭序」「風信帖」を原寸大で全文掲載し、比較して観賞したり臨書の教材として活用したりできるようにしました。

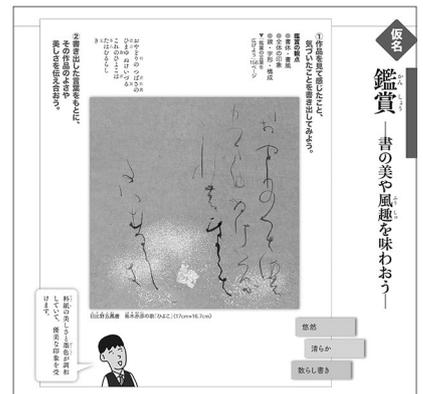


p.24

- 巻末に主な観賞用語を類語とともに掲載し、生徒が観賞学習や自己評価・相互評価などをするとき使用する語彙を増やせるように配慮しました。



p.156-157



p.100 (部分)

3 書の伝統と文化への理解を深める

各教材には古典の概要や歴史的背景を示し、さらに書の伝統と文化について理解を深めるためのコラムを随所に掲載しました。唐の四大家や王羲之、仮名の鑑賞の形態、著作権など、生徒の興味・関心を喚起し知的好奇心を刺激する題材を幅広く取り上げました。

p.39

コラム
王羲之
— 神格化された書聖 —

王羲之は、東晋の書家。草書、行書、楷書の各書体において、独自の風格を確立し、後世に大きな影響を与えた。『蘭亭序』は、彼の代表作として、草書の傑作と讃えられる。また、彼の書風は、唐の四大家（顔真卿、柳公権、歐陽詢、虞世南）の一人である。

●コラムでは、日本史・世界史など他教科との関わりや、書に関わる文化の紹介をしています。

p.102-103

コラム
受け継がれる古筆

書かれた姿から
鑑賞する姿へ

古筆の保存と継承について、その歴史と現状を詳しく解説しています。また、古筆の鑑賞方法や、デジタル技術を活用した保存技術についても触れています。

p.130

コラム
著作権

富士には月見草がよく似合ふ
大宇治のこぼれ 隆かく

著作権の重要性と、現代社会における著作権の役割について解説しています。また、著作権の保護と創作の促進のバランスについても触れています。

p.140

書道用語 200

書道史略年表

書道用語 200 は、書道の基礎知識を網羅的に紹介しています。また、書道史略年表は、書道の歴史を年表形式でわかりやすく解説しています。

●資料では、学習の補助となる「書道用語 200」「書道史略年表」に加え、美術館の役割を紹介し、社会における書の文化に触れられるよう配慮しました。

p.152-153

書を見に行こう

作品以外にも
楽しみよう

知識を届けよう

情報を入力しよう
出かけるよ

美術館へ

書を見に行こうは、書道愛好者や一般市民が書道の世界に触れるためのガイドブックです。美術館の役割や、書道展の見方、書道体験の楽しみ方など、様々な情報を提供しています。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
書写から書道へ	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い知識と教養を身につけ、真理を求める態度を養うために、国語科書写の学習内容を振り返って書道との接続を図る導入単元を設けました。(第1号) ・男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うために、写真における男女の人数や役割などに配慮しました。(第3号) ・日本の伝統産業である筆、墨、硯、和紙の作り方を紹介することで、伝統と文化を尊重する態度を養えるよう配慮しました。(第5号) 	<p>p.2-9</p> <p>p.8</p> <p>p.5</p>
漢字の書	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の書に関する幅広い知識や教養を身につけられるように、さまざまな種類の古典作品を掲載し、作品の概要や表現の特徴、歴史的背景などの解説を取り上げました。(第1号) ・創作の活動においては、学習過程を明確にし、見通しを持って学習を進められる構成とすることで、自主・自律の精神と主体的な学習態度を養えるよう配慮しました。(第2号) ・鑑賞の活動においては、感じたことや考えたことを伝え合う言語活動を取り入れて、自己と他者を尊重し、協働的な学びができるよう工夫しました。(第3号) ・漢字の変遷や漢字から仮名が生まれる過程を示すことで、日本と中国が育んできた文字を通して、我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重する態度を養えるよう配慮しました。(第5号) 	<p>p.22-23 他</p> <p>p.70-71</p> <p>p.18-19, 72-73</p> <p>p.12-13</p>
仮名の書	<ul style="list-style-type: none"> ・仮名の書に関する幅広い知識や教養を身につけられるように、さまざまな種類の古典作品を掲載し、作品の概要や表現の特徴、歴史的背景などの解説を取り上げました。(第1号) ・創作の活動においては、学習過程を明確にし、見通しを持って学習を進められる構成とすることで、自主・自律の精神と主体的な学習態度を養えるよう配慮しました。(第2号) ・鑑賞の活動においては、感じたことや考えたことを伝え合う言語活動を取り入れて、自己と他者を尊重し、協働的な学びができるよう工夫しました。(第3号) ・仮名の成立や伝統的な鑑賞の形態などを示すことで、我が国の伝統と文化を尊重し、国と郷土を愛する態度を養えるよう配慮しました。(第5号) 	<p>p.86-87 他</p> <p>p.98-99</p> <p>p.100-101</p> <p>p.76-77, 102-103</p>
漢字仮名交じりの書	<ul style="list-style-type: none"> ・創作の活動においては、学習過程を明確にし、見通しを持って学習を進められる構成とすることで、自主・自律の精神と主体的な学習態度を養えるよう配慮しました。(第2号) ・教材の文字例に自然に関する文言を取り上げることで、生命を尊重し、環境保全に寄与する態度を養えるよう配慮しました。(第4号) ・日本語の表記である漢字仮名交じり文の成立や漢字仮名交じりの書の変遷を示すことで、我が国の伝統と文化を尊重し、国と郷土を愛する態度を養えるよう配慮しました。(第5号) 	<p>p.120-121</p> <p>p.108 他</p> <p>p.106-107</p>
生活に広げる	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りにあるさまざまな書を示すことで、書を通して社会に参画することの意義を考えられるよう配慮しました。(第3号) 	<p>p.124-129</p>

<p>篆刻・刻字</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・創作の活動においては、学習過程を明確にし、見通しを持って学習を進められる構成とすることで、自主・自律の精神と主体的な学習態度を養えるよう配慮しました。(第2号) ・鑑賞の活動においては、感じたことや考えたことを伝え合う言語活動を取り入れて、自己と他者を尊重し、協働的な学びができるよう工夫しました。(第3号) 	<p>p.133-136, 138</p> <p>p.137</p>
<p>口絵 書道史地図 資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ●書道用語 200 ●書道史略年表 ●書を見に行こう ●鑑賞の言葉を広げよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・「書道用語 200」で学習に役立つ書道用語を取り上げ、書道に関する幅広い知識が身につくよう配慮しました。(第1号) ・「書を見に行こう」で身近にある美術館・博物館を紹介して、それらの社会施設の活用について示すことで、社会の一員としてその形成に参画し発展に寄与する態度を養えるよう配慮しました。(第3号) ・「書道史地図」と「書道史略年表」を示すことで、我が国と他国の伝統と文化を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるよう配慮しました。(第5号) 	<p>p.140-146</p> <p>p.152-155</p> <p>口絵 2-p.1, p.147-151</p>

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

① 教育のICT化への取り組み

・教科書上に☐がある単元(p.22, 24, 79, 135 他)では、インターネットを使って漢字や仮名の書の運筆動画や篆刻の動画を提供しています。タブレットやスマートフォンから教科書紙面に掲載されている二次元コードやURLにアクセスするといつでも視聴でき、家庭学習や個別学習を効果的に進められます。(「編修趣意書(学習指導要領との対照表, 担当授業時数表)」の「2. 対照表」参照。)

② 他教科の学習との関連

・国語(古典や漢文)や日本史, 世界史など他教科の学習と関連する教材には教科関連マーク⑤を付けることで意識化を図り, 効果的な関連指導ができるように配慮しました。(p.32-33, 58, 96 他)

③ 中学校書写との接続

・冒頭に「書写から書道へ」として, 中学校書写で学習したことを確認するページを設けました。中学校書写での学習を丁寧に振り返ることから高等学校書道の授業に入ることで, 校種を超えた円滑な接続が図れるように配慮しました。(p.2-9)

④ ユニバーサルデザインを取り入れた紙面

・色覚の多様性に配慮し, カラーユニバーサルデザインの観点から, 配色およびデザインについて, 全ページにわたって専門家による検証を行っています。

・情報のまとまりが分かりやすいレイアウトや色使いにし, 生徒の集中を妨げないよう配慮しています。

⑤ 環境に配慮した印刷・造本

・再生紙・植物油インキを使用しています。

・印刷業界団体が定めた環境配慮基準を満たす「グリーンプリンティング認定工場」で印刷しています。

・ページの開きがよく, かつ耐久性が非常に高いPUR製本を採用しました。教科書を二つ折りにできるほど開いても壊れることはありません。また, リサイクル性にも優れています。

編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

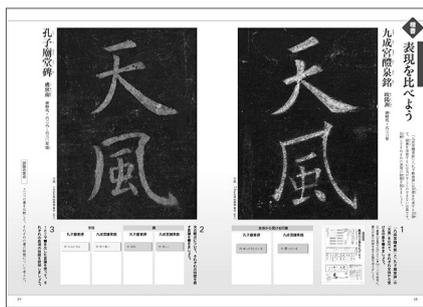
※ 受理番号	学校	教科	種目	学年
102-280	高等学校	芸術	書道 I	
※ 発行者の番号・略称	※ 教科書の記号・番号	※ 教科書名		
2 東書	書 I 701	書道 I		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

① 学びやすい単元構成

「主体的・対話的で深い学び」を実現するための工夫

- 特に重点的に扱う教材では、二つの古典を比較してその特徴を捉える導入としました。拡大と原寸の高精細な図版を掲載し、鑑賞と表現を相互に関連付けながら学習を進められるようにしました。
- 主体的に取り組めるように手順を明確に示しています。また、考えたことを説明するという言語活動を取り入れて、対話的な学びができるように工夫しました。



p.18-19



p.20-21

表現の特徴

古典を通して学ぶポイントを焦点化して、簡潔な解説と図版で分かりやすく示しました。

広げよう

同じ古典の別の文字で理解を深めます。臨書の補充教材としても活用できます。

人物と時代

筆者や古典に関わる人物について、また古典が生まれた時代背景について解説しました。

写真図版

石碑の写真など教材の関連資料を掲載し、生徒の興味・関心を高めるように工夫しました。

キーワード

当該教材の学習における重要用語を示しました。評価の際にも活用できます。

「字形と筆順」

特に字形や筆順が分かりづらい文字を取り出して、硬筆の骨書きと筆順を示しました。

「釈文」「書き下し文」「大意」

QRマーク・二次元コード

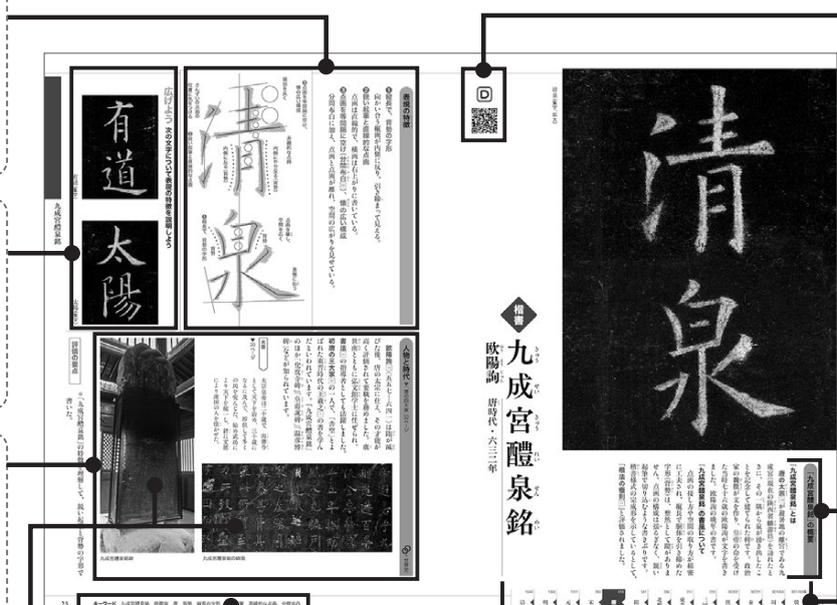
インターネットを使って運筆動画を見ることができます。

概要

古典の歴史的背景と書風について解説しました。

時代スケール

成立年代を視覚的に捉えることができます。



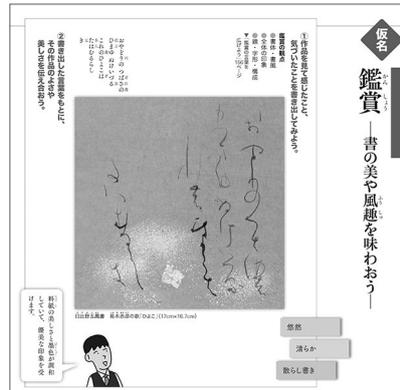
p.22-23

鑑賞学習の充実

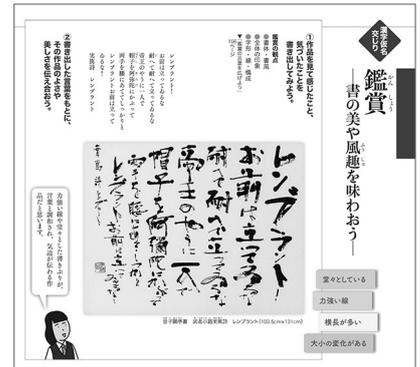
- 鑑賞学習のより一層の充実を図るために、「漢字の書」「仮名の書」「漢字仮名交じりの書」「篆刻・刻字」の各分野に鑑賞の単元を設けました。



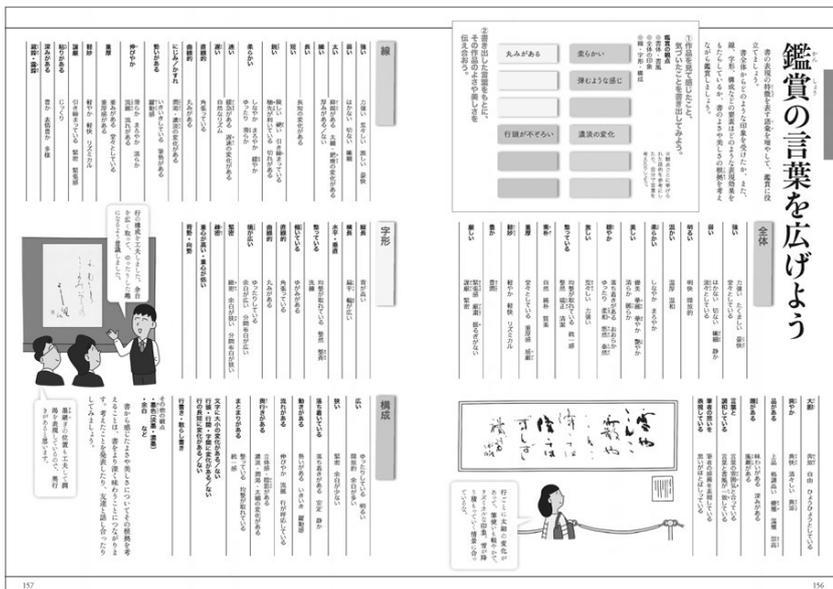
p.72 (部分)



p.100 (部分)



p.122 (部分)



p.156-157



p.137 (部分)

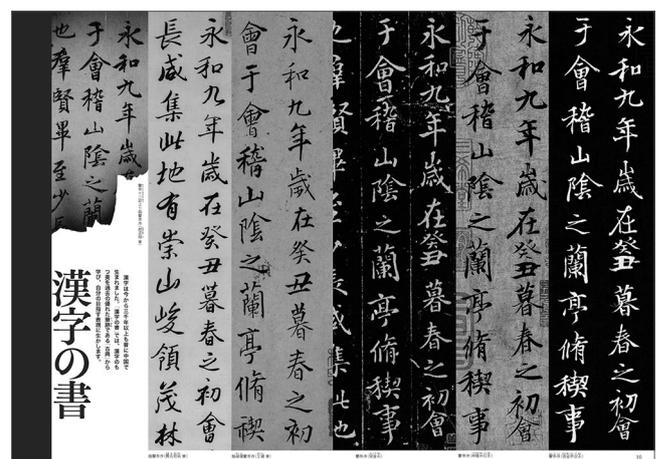
- 156-157 ページに「鑑賞の言葉を広げよう」を新設し、鑑賞の際に用いる語彙を観点ごとに整理して豊富に取り上げました。直感的印象にとどまらない、根拠ある鑑賞ができるようになるための工夫です。

- 生涯にわたって書を愛好する心情を育むために、身近な美術館や博物館などの展示の工夫や書を鑑賞する方法を示した「書を見に行こう」を新設しました。

- 教科書の中でも、より多くの書の美に触れることができるように、「漢字の書」「仮名の書」の扉ページには、見開きにわたって大きく鮮明な画像で古典作品を掲載しました。



p.152-153



p.10-11

3 精選された教材群

- 「漢字の書」「仮名の書」「漢字仮名交じりの書」「篆刻・刻字」の「漢字の書」「仮名の書」では、評価の定まった古典・古筆を精選し、中でも字形や用筆などの特徴がよく表れている部分を取り上げました。

		基本教材	参考教材	その他
漢字の書	楷書	「九成宮醴泉銘」「孔子廟堂碑」「雁塔聖教序」「自書告身」「牛橛造像記」	「隅寺心経」	「薦季直表」「鄭羲下碑」
	行書	「蘭亭序」「争坐位文稿」「風信帖」		「温泉銘」「蜀素帖」「李嶠詩殘卷」「光定戒牒」「伊都内親王願文」「屏風土代」「国申文帖」「白氏詩卷」
	草書	「真草千字文」		「書譜」「自叙帖」「忽惠帖」
	隸書	「曹全碑」		「礼器碑」
	篆書	「泰山刻石」		「甲骨文」「大孟鼎」
仮名の書		「蓬萊切」「高野切第三種」「関戸本古今和歌集」	「継色紙」「升色紙」「寸松庵色紙」	「粘葉本和漢朗詠集」「隅田八幡人物画像鏡銘」「正倉院仮名文書」「有年申文」「方丈記」「高野切第一種」「高野切第二種」

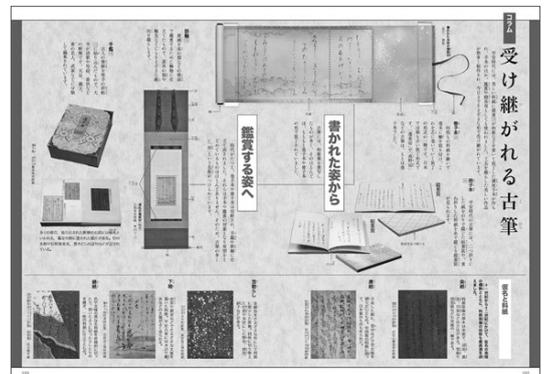
- 古典の図版は、高精細の美しい印刷で、可能な限り原寸大としました。色調も調整して原典に近づけています。「蘭亭序」と「風信帖」は臨場感あふれる原寸大の全景です。
- 「生活に広げる」では、手紙や履歴書といった硬筆による実用的な書や、生活や社会の中で用いられている書についても取り上げて、多様な文字や書と関わるができるように工夫しました。

4 資料の充実

- 書に関する幅広い知識を身につけ、書の伝統と文化に親しめるように、多様な題材のコラムを随所に設けました。

コラムの内容

- 【書写から書道へ】「用具・用材の製造方法」
- 【漢字】「拓本の採り方」「唐の四大家」「写経の隆盛」「王羲之」「神龍半印本と印」「三筆から三跡へ」「始皇帝と文字」
- 【仮名】「古筆の工夫を鑑賞しよう」「和歌集の書かれ方」「伝称筆者とは」「料紙（継紙）の作り方」「受け継がれる古筆」
- 【漢字仮名交じり】「いろいろな用具・用材」
- 【生活に広げる】「著作権」



p.102-103

- 巻頭には「書道史地図」、巻末には「書道用語 200」「書道史略年表」「書を見に行こう」「鑑賞の言葉を広げよう」などの学習に役立つ資料を豊富に掲載しました。
- マークのある教材では、二次元コードからインターネットに接続して運筆動画などを見ることができます。



二次元コード



p.28

2. 対照表

図書の構成・内容		学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
書の美を楽しむ 書道史地図		B (1) ア (ア), (イ) イ	表紙2, 口絵	
書写から書道へ	書写で学んできたこと	A (1) ア (ア) (イ), イ (ア), ウ (ア) (イ)	p.2-4	
	(コラム) 用具・用材の製造方法 用具・用材	A (1) イ (ア)	p.5-7	
	姿勢・執筆法	A (1) イ (ア)	p.8-9	
漢字の書	漢字の成立と変遷	B (1) イ (イ) (ウ)	p.12-13	
	古典に基づく学習 (コラム) 拓本の採り方	B (1) イ (イ) (エ)	p.14-15	
	楷書 楷書の特徴 表現を比べよう 「九成宮醴泉銘」㊦ 「孔子廟堂碑」㊦ 「雁塔聖教序」㊦ 「自書告身」㊦ (コラム) 唐の四大家 「牛欄造像記」㊦ 参考 「隅寺心経」	A (2) ア (ア), イ (イ), ウ (ア) (イ) B (1) ア (ア), イ (ア) (イ) 共通事項 (1) ア, イ	p.16-37	
	行書 行書の特徴 (コラム) 王羲之 「蘭亭序」㊦ 「争坐位文稿」㊦ 「風信帖」㊦ (コラム) 三筆から三跡へ	A (2) ア (ア), イ (イ), ウ (ア) (イ) B (1) ア (ア), イ (ア) (イ) 共通事項 (1) ア, イ	p.38-58	
	草書 草書の特徴 「真草千字文」㊦	A (2) ア (ア), イ (イ), ウ (ア) (イ) B (1) ア (ア), イ (ア) (イ) 共通事項 (1) ア, イ	p.59-69	
	隸書 隸書の特徴 「曹全碑」㊦			
	篆書 篆書の特徴 (コラム) 始皇帝と文字 「泰山刻石」㊦			
	創作 —古典を生かそう— 鑑賞 —書の美や風趣を味わおう—	A (2) ア (ア) (イ), イ (ア) (イ), ウ (ア) (イ) B (1) ア (ア), イ (ア) (イ) 共通事項 (1) ア, イ	p.70-73	

仮名の書	仮名の成立	B (1) イ (イ) (ウ)	p.76-77	
	仮名を書く準備 ㊦ 平仮名の単体 変体仮名 連綿	A (3) ア (ア) , イ (ア) (イ) , ウ (ア) (イ) B (1) ア (ア) , イ (ア) (イ) (ウ) (エ)	p.78-85	
	仮名の書 「蓬萊切」 ㊦ 「高野切第三種」 ㊦ 「関戸本古今和歌集」 ㊦	A (3) ア (ア) , イ (イ) , ウ (ア) (イ) B (1) ア (ア) , イ (ア) (イ) (エ) 共通事項 (1) ア, イ	p.86-93	
	全体構成 参考 三色紙の散らし書き	A (3) ア (ア) (イ) , イ (ア) (イ) , ウ (ア) (イ) B (1) ア (ア) , イ (ア) (イ) (エ) 共通事項 (1) ア, イ	p.94-97	
	創作 ー古筆を生かそうー 鑑賞 ー書の美や風趣を味わおうー ㊦ 受け継がれる古筆	A (3) ア (ア) (イ) , イ (ア) (イ) , ウ (ア) (イ) B (1) ア (ア) , イ (ア) (イ) (エ) 共通事項 (1) ア, イ	p.98-103	
漢字仮名交じりの書	漢字仮名交じりの書の変遷	B (1) イ (イ)	p.106-107	
	表現を比べよう 表現の工夫1 古典を生かした表現 表現の工夫2 線による表現の広がり ㊦ 表現の工夫3 用具・用材による表現 表現の工夫4 紙面構成	A (1) ア (ア) (イ) (ウ) , イ (ア) (イ) , ウ (ア) (イ) B (1) イ (ア) 共通事項 (1) ア, イ	p.108-119	
	創作 ー言葉と書を調和させようー 鑑賞 ー書の美や風趣を味わおうー	A (1) ア (ア) (イ) (ウ) , イ (ア) (イ) , ウ (ア) (イ) B (1) イ (ア) (イ) (エ) 共通事項 (1) ア, イ	p.120-123	
生活に広げる	生活に広げる ㊦ 著作権	A (1) ア (イ) , イ (イ) , ウ (ア) (イ) B (1) ア (イ) , イ (ア) 共通事項 (1) ア, イ	p.124-130	
篆刻・刻字	篆刻と落款 創作 ー落款を刻すー ㊦ 鑑賞 ー篆刻の美や風趣を味わおうー 創作 ー好きな言葉を彫るー	A (2) ア (ア) (イ) , イ (ア) (イ) , ウ (ア) (イ) B (1) イ (ア) 共通事項 (1) ア, イ	p.132-138	
資料	書道用語200 書道史略年表 書を見に行こう 観賞の言葉を広げよう	B (1) イ (イ) (エ)	p.140-157	

㊦…インターネットを使って、動画を視聴できる単元。